

第 2 回 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会 演出委員会

開閉会式の基本的なテーマ

メインテーマ

コミュニケーションの祭典

ーコミュニケーションを徹底的に楽しむー

様々なコミュニケーションを通じて、東京らしさ、日本らしさを表現



多様な主体間によるコミュニケーション
様々な違いを持つ人達の間での意思疎通
(障がいの有無、言語・文化の違い、年齢の違い)

“互いの違いや個性”
“ズレ”を楽しむ

【視覚】
最新デジタル
技術の利用

著作権の関係により、
掲載不可

著作権の関係により、
掲載不可

【振動】
打楽器や
ストンプ

多様な関係性によるコミュニケーション

個人・グループのもとでの意思疎通
(1対1、1対N、N対N、N対1)

多様な表現によるコミュニケーション

ノンバーバルコミュニケーション
(目で見て感じる、振動で感じる)

演出にあたってのアイデア

情報保障等に影響しない範囲においてステージトラスを活用

著作権の関係により、
掲載不可

トラスを活用することで効果的な
照明演出が可能



ステージをグリッドで区切ることでパフォーマンスを美しく見せる



演出家が委託業務に関わる範囲と条件について（１）

範囲

- ◎開閉会式の演出にあたっては、**演出家は委託者が指定し、また、演出家が指定する技術的なサポートを行うスタッフ等を加えた「演出家チーム」として対応する**
- 演出家チームは、開閉会式の演出に係る業務（照明、音響、舞台美術、映像、情報保障、その他演出に係る調達・執行管理）を行うものとする。
- 演出家チームは、式典プログラムのうち、**オープニングプログラム、アーティストックプログラム及びエンディングプログラムの項目については監督し、選手入場行進及び炬火については受託事業者が提案するものを監修する。**
- その他、広報活動や東京体育館からの中継、福島県Jヴィレッジ会場でのイベントについても受託事業者が提案するものを、演出家が監修することを予定

演出家が委託業務に関わる範囲と条件について（２）

条件

- 演出家チームは、演出におけるコントローラー的役割
 - ・ 映像制作、舞台美術等の制作事業者を指定することは不可
 - ・ 音響、照明、映像機材の規格指定はできるが調達先の指定は不可

- 出演者の選定にあたっては、オーディション等の適正な手続きを経た上で、キャスティングするものとする。

演出家が委託業務に関わる範囲と条件について（3）

○仕様書の項目は以下のとおり

分類	項目名	監督・監修	演出家の業務範囲	演出家チームの関与
式典企画	式典運営方針	監修	式典のコンセプト等を制作	事業者が土台（コンセプトや全体の演出プラン）を提案し、演出家チームが監修
	実施体制	事業者の中に入り監督	業務に必要な人員の確保	演出家チームが制作に入る
	全体進行スケジュール	—	全体進行スケジュールの作成、管理	※（確認）事業者との調整事項
式典会場設計	図面計画	—	委託者の案を元に計画を精査の上、作成	—
	照明・音響計画	—	委託者の案を元に計画を精査の上、作成（照明員配置等の実施含む）	—
	設備整備計画	監修	仮設スタンド・ステージ：委託者の案を元に計画を精査の上、作成（造作の実施含む） 照明・音響・映像等設備：委託者の指定する演出家等と協力し計画・調達 情報保障設備：情報保障機材の配置計画・調達	ステージや照明、音響、映像等は演出家チームで計画 事業者において計画を具体化 ※演出家チームが照明、音響、映像、ステージ等を企画し演出家が調達等の調整を行う
	機材・通信環境計画	—	機材・通信環境における計画の作成（通信環境の整備実施を含む）	—
	装飾計画	監修	装飾計画の作成（装飾の実施含む）	演出家チームにおいて会場の装飾を計画 事業者において計画を具体化 ※演出家チームが装飾イメージを企画し、演出家が具体化するために調達等の調整を行う
式典準備及び進行	式典前後案内図	—	式典前後における案内図の作成・投影	—
	式典進行	—	司会による進行（キャストイング含む）※国際手話通訳者は委託者において手配	—
	オープニングプログラム	監修	オープニングプログラムの実施	演出家チームにおいて、アーティスティックプログラムと繋がるオープニングプログラムを制作 ※演出家チームがアーティスティックプログラムと繋がるように0から制作する
	選手入場行進	監修	委託者の行進案を元に計画を精査の上、作成（照明員配置等の実施含む） 入場行進の演出を計画・実施	事業者が土台（プラカード等）を提案し、演出家チームが監修
	スピーチ	—	スピーチの実施	※（確認）必要に応じて演出上の意見可能
	開会宣言	—	開会宣言の実施	※（確認）必要に応じて演出上の意見可能
	デフリンピック旗引継ぎ及び掲揚	—	デフリンピック旗引継ぎ及び掲揚の実施（掲揚者は委託者で手配予定）	※（確認）必要に応じて演出上の意見可能
	炬火（光）リレー及び点灯	監修	炬火の演出を計画・実施（ランナーは委託者で手配予定）	事業者が土台（演出用小道具等）を提案し、演出家チームが監修 ※演出家がトーチや演出のプランを提案し、演出家が監修する
	選手及び審判宣誓	—	選手及び審判宣誓の実施	※（確認）必要に応じて演出上の意見可能
	国歌斉唱	—	国歌斉唱の実施（斉唱者は委託者にて指定する）	※（確認）必要に応じて演出上の意見可能
	開旗掲揚	—	開旗掲揚の実施（斉唱者は委託者にて指定する）	※（確認）必要に応じて演出上の意見可能
	アーティスティックプログラム	監修	委託者が指定する演出家が制作するため、必要となる調整を行うこと	演出家チームにおいて、アーティスティックプログラムを制作 ※演出家チームが0から制作する
	エンディングプログラム	監修	エンディングプログラム（映像）の実施	演出家チームにおいて、アーティスティックプログラムと繋がるエンディングプログラム（映像）を制作 ※演出家チームがアーティスティックプログラムと繋がるように0から制作する
	サテライト会場（福島県Jヴィレッジ）	監修	コンテンツの実施、会場の照明等の調整（東京会場の開会式を福島県に向けて映像中継）	事業者が土台（コンテンツ）を提案し、演出家チームがサテライト会場における演出を監修
	共通事項（式典実施マニュアル等）	—	式典実施マニュアルの作成	—
	映像中継	監修	youtubeによる配信	演出家チームがアーティスティックプログラム等の中継における監修を行う
式典広報	事前広報	監修	SNSによる広報	事業者においてオンライン（SNS等）の広報を実施（※） ※演出家がSNS広報のプランを提案するため、演出家が必要に応じて中身を監修
	当日案内	—	パンフレットの配布	—
式典警備	警備	—	東京体育館の警備	—

■：演出家が0から制作（監督）

■：事業者提案のもと、演出家が監修する

○着色部分（ ■ ■ ）について内容（仕様書、評価基準の記載）を紹介

仕様書・評価基準（案）について

1 式典運営方針

評価項目
3 式典企画

【仕様書】

- 受託者は、式典運営方針を提案すること。

【評価基準】

- 事業者独自のノウハウを活かし、参加者の誰しものが楽しめる工夫を取り入れた方針が提案がされているか
- ※ 式典運用方針（コンセプトや演出構想）は、業者提案をベースに演出家の監修のもとで策定

2 実施体制

評価項目
3 式典企画

【仕様書】

- 大規模なスポーツ大会等の運営業務に精通した統括業務責任者等を配置し、委託者が指定した演出家及び演出家チームとの協働により事業を進めていくこと。
- 開閉会式における主要言語は国際手話及び英語（音声及びテキスト表示）であるが、日本手話言語及び日本語（音声及びテキスト表示）対応も行う。

【評価基準】

- ろう者や演出家等と一緒に制作するための具体的提案がされているか。
- 運営実績を有し全体の制作・運営を効果的に実施することが可能か。
- 演出における制作について、演出家の意図に柔軟に対応しながら遅滞なく進行管理し、制作を遂行できる体制か。

3 設備整備計画

評価項目
4 式典会場設計

【仕様書】

- 委託者の検討案（ステージ位置やトラス等）を精査し、内容を更新の上、設備整備計画（ステージイメージ）を提案すること

【評価基準】

- 式典を全体（入場行進、スピーチ、アーティスティックプログラムなど）を通して効果的に演出できるステージが提案されているか。
- 会場の特性を活かし、コストを抑えながら効果的な演出ができるステージが提案されているか。

4 情報保障

評価項目
4 式典会場設計

【仕様書】

- 情報保障機器やサービスの一部は委託者が提供予定であるため、本業務においては、以下のとおり、情報保障における機器配置や運用方法を提案すること。

【評価基準】

- 会場のどこからでも視認性を確保できる機材配置の工夫等が提案されているか。
- 世界中のろう者が式典の内容に関する情報を等しく得られるよう情報保障における工夫が提案されているか。
- 会場にいる参加者が誰一人取り残されることがないよう、多様な情報保障の手段について提案されているか。

仕様書・評価基準（案）について

5 観客誘導方法

評価項目
4 式典会場設計

【仕様書】

- 受託者は、参加者が安全且つ快適に式典に参加ができるよう場内・誘導計画を提案すること。

【評価基準】

- 参加者が安全且つ快適に式典に参加できる場内誘導方法について提案しているか。
- 動線や機材設置場所などの実現可能性を考慮し、これまでのイベント経験で培ったノウハウが企画に活かされる工夫が提案されているか。

7 装飾計画

評価項目
4 式典会場設計

【仕様書】

- 受託者は、装飾計画（会場装飾、会場サイン）を提案すること。装飾計画は、デフリンピックの大会カラーや大会共通のデザインをベースとしたものとする。

【評価基準】

- 会場装飾（ルック）をベースとした開閉会式独自の祝祭感溢れる会場装飾イメージが提案されているか。

6 入退場管理

評価項目
4 式典会場設計

【仕様書】

- 受託者は、参加者が円滑に会場に入退場できるよう入退場管理計画を提案すること。

【評価基準】

- 参加者が円滑に入退場できる入退場管理方法（一時退場及び再入場を含む）について提案しているか。
- 参加者の入退場について、式典運営や安全管理の観点から、安全に、且つ、遅滞、遺漏なく入退場管理を行う提案となっているか。

8 式典前プログラム

評価項目
5 式典準備及び運営

【仕様書】

- 待機中の選手及び参加者に向けた式典前プログラムについて提案のうえ、演出家チームの監修のもと実施すること。

【評価基準】

- 選手が式典までの待機時間中に楽しめるプログラムについて、委託者が提供するコンテンツと組み合わせて提案しているか。

仕様書・評価基準（案）について

9 炬火（光）リレー及び点灯

評価項目
5 式典準備及び運営

【仕様書】

- 炬火は、生火を使わずに、照明（光）で表現し、最終ランナーは、館内でリレーを行い、点灯する。
- 炬火ランナーは委託者において決定する。
- エスコートランナーは受託者において手配すること。
- 演出家チーム監修のもと炬火における計画・実施をすること。

【評価基準】

- 炬火における演出イメージについて効果的な提案をしているか。
- 炬火に必要な用具等の発注・調達はもとより炬火リレー、炬火点灯等の運営に関する計画を網羅し、内容に漏れがない計画となっているか。

10 選手入場行進

評価項目
5 式典準備及び運営

【仕様書】

- 委託者の検討案（行進動線や行進人数等）を精査の上、選手入場行進の演出方法等を提案すること。

【評価基準】

- 各階観覧席からの視認性を考慮のうえ、観覧者が選手団と一体となって楽しめるよう、必要な演出策等が提案されているか。
- 行進時間の60分間について見ている人が飽きずに楽しめる演出内容について提案されているか。
- 無理・無駄のない演出を行うための工夫（効率的かつコスト低減につながる工夫）が提案されているか。

11 サテライト会場（福島県Jヴィレッジ）

評価項目
5 式典準備及び運営

【仕様書】

- 受託者は、東京体育館における中継中、スピーチ等の一部プロトコールの実施時間を除き、選手団を含む参加者が楽しめるコンテンツを計画し、実施すること。

【評価基準】

- 映像中継において東京会場と繋がりを持ちつつ、きこえない、又はきこえにくい人の両者（選手や観客）が楽しめるコンテンツを提案しているか。

12 映像中継

評価項目
5 式典準備及び運営

【仕様書】

- 受託者は、東京体育館に観覧できない選手団等も、東京体育館でのコンテンツを楽しむことができるよう、インターネットを利用して中継すること。

【評価基準】

- 式典中の様子を効果的に捉え、発信する映像中継の方法やイメージについて提案しているか。
- きこえない、又はきこえにくい人に対する合理的配慮や情報保障がなされているか。

仕様書・評価基準（案）について

12 アーティスティックプログラム

※オープニングプログラム、エンディングプログラムも一貫性を持たせるため演出家が監督

【検討状況】 ※事業者提案せず演出家で制作

- きこえない・きこえにくい人、きこえる人などが楽しめるプログラム
- ダンスや手話などを織り交ぜるパフォーマンス
- 出演者は100名規模を想定、キャスティングの方法については一般参加も含め検討中
- 演出エリアをパフォーマンスエリアだけでなく、アリーナ観客席（選手エリア）も対象とし、会場内の一体感を醸成
- アリーナ中央において効果的に視覚へ訴える演出（トラス等を効果的に活用）
- 演出のキーワードは「コミュニケーション」

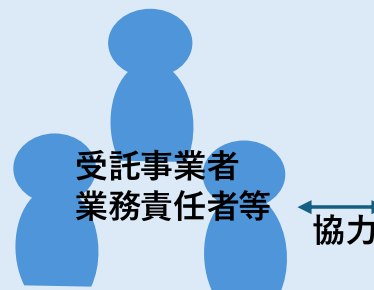
【仕様書】

- アーティスティックプログラムは、演出家チームで0から制作する。受託者は、演出家チームの構想を具体化するための調整等を行う。
- 出演者のキャスティングは受託者で行う。
（演出家の協力や実施方法については別途調整）
- 受託者は、事前稽古の場所について確保すること。
- 情報保障については、ろう者の意見を聴取の上、計画すること。

委託者（東京都スポーツ文化事業団）

契約締結

受託事業者



演出家チーム

演出家が指定する
技術的なサポート
を行うスタッフ等

13 事前広報

評価項目
6 式典広報

【仕様書】

- 受託者は、きこえない人、又はきこえにくい人達、きこえる人達が開閉会式に興味を持つような事前周知における広報計画（オンライン等）を提案すること。

【評価基準】

- 開閉会式の準備段階から開催直前まで、式典開催にむけた事前周知について提案しているか。
- きこえない、又はきこえにくい人、きこえる人が開閉会式に興味を持つようなPR戦略を提案しているか。

評価項目・配点

項目	配点
1 事業全般への理解度	6 0 点
2 コスト低減の妥当性、効果測定	6 0 点
3 式典企画	7 0 点
4 式典会場設計	7 0 点
5 式典準備及び運営	1 0 0 点
6 式典広報	2 0 点
7 実績等	2 0 点
合計	4 0 0 点

スケジュール（案）について

	2024年		2025年										
	12月		1月	2月	3月	4月	5	6	7	8	9	10	11
契約	仕様書 作成	最終 調整	案件 公表	説明会	事業者 提案期間	審査会	契約開始						
検討 制作	仕様書に 係る意見 交換		開閉会式の演出の大枠について 検討			※演出家チームは、受託者の体制に入り制作開始							
						キャストイング		事前稽古					
開閉会式本番													

開閉会式本番